

県内の特産や お笑い楽しむ

日本JＣ「兵庫フェスタ」

地元小中学生らの歌や演奏も披露され、大勢の人でにぎわった会場＝加古川市加古川町北在家



日本青年会議所（日本JＣ）近畿地区兵庫ブロック協議会が主催する「きらめく兵庫フェスタ」（神戸新聞社など後援）が30日、加古川市加古川町の市役所前広場などで開かれた。地元出身の芸人、

陣内智則さんらのショーに加え、県内各地の特産食材などの43ブースが並び、約1万2千人でにぎわった。

県内25の青年会議所で持ち回る地域活性化イベントで、加古川では32年ぶりの開催。

茶道家で裏千家15代・前家元の千玄室さんが「本当の仕合わせ」と題して基調講演。太平洋戦争時は特攻隊員だったが出撃命令が下らず生き残った体験を回想した。韓国と北朝鮮の緊張関係に触れ

て「戦争となれば日本も危うい。私たちは対岸の火事として見ていないか」などと語った。

陣内さんのほか、沖縄出身のバンド「かりゆし58」のライブも。阪神・淡路大震災からの復興史や将来の備えを考察する「防災展示会」もあった。

加古川市西神吉町の吉原小百合さん（7）、詩織さん（5）姉妹は「カツめしがおいしくて、（子ども用の）ネイルアートが楽しかった」と笑顔だった。

（安藤文暁）